

保護者の皆さん、学校運営協議会の皆さん、合唱祭にようこそおいでくださいました。ご多用の中にも関わらず、ご来校いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨年度まで、文化祭で発表していた合唱を7月に移動した理由からお話しします。

昨年度の学校反省で、先生方から次のような話題が出ました。

- ◇ 生徒数が減少したがコロナ禍で行事調整ができなかった年が続いたこと。
- ◇ この現状を受け、生徒の負担を減らせるよう、今年は『総合的な学習の時間』の発表を12月に移動し、文化祭を午前中に終わらせるように配慮した。しかし、それでも一部の生徒にとってはかなり準備や練習に時間を割かれることとなり、大きな負担はあまり軽減しなかったこと。
- ◇ また、弁論や合唱、地域芸能、生徒会など様々な企画を同時に準備する必要があるので、本来はもっと完成度の高い内容を発表できるはずの生徒たちが時間に追われ、次々にやることが迫ってそれぞれの練習に集中しづらい環境にあったこと。

この話題を受け、

- 生徒が満足感と達成感を味わえるよう、ひとつの取り組みにできるだけ専念できるように行事を再編成し、準備環境を作りたい。
- 生徒が自分たちの実力を発揮できるように行事を更に配分したい。何をどのように移動するか。適切な時期はいつだろうか。

と話し合った結果、

- ◎ 夏休み前に文化祭の合唱を移動し、新たに『合唱祭』を設けて実施する。

と計画した次第です。

この行事の移動は我々にとっても挑戦でしたが、すでにこの時期にしてよかったと思える状況がありました。

3年生が最上級生としての自覚を持ち、下級生をリードして一生懸命に練習に取り組む姿が本当にかっこよかった。特に、今回の全校合唱「RPG」は3年生のカラーそのものであり、作り上げた合唱は3年生そのものの姿です。

2年生も、もともと何事にも一生懸命に取り組む学級ですが、3年生の頑張りを見て、安心して練習に向かっていました。「精一杯に取り組むことが素晴らしい」と自信を持って取り組む姿は先輩としてふさわしく、上級生として立派な姿勢を1年生に見せてくれました。

そして、まだ入学して3か月の1年生も、先輩方の一生懸命な姿勢を見て学んでいること。

全校合唱で一生懸命に歌う先輩方のエネルギーを吸収し、生き生きとした表情で全校合唱に取り組む姿。これから、その学びを学級での生活に生かしていくことが期待できます。

生徒の皆さん、これまでの練習、先日のリハーサルでの合唱、お疲れさまでした。

私は、すでに今日の合唱祭の成功を確信していますし、今日の本番で、君たちの一生懸命が心置きなく発揮される姿を信じています。

いざ歌おうとしたとき、もし緊張していたら……。それは自分が本気で取り組もうとしている証です。緊張感も行事の醍醐味。

合唱と緊張を一緒に楽しんでくださいね。

最後に、本日、この体育館にお集まりいただいたすべての皆さんが、合唱祭を終えたとき、体と心にエネルギーが充填され、明日への活力に満たされる行事になることをお祈り申し上げ、開会の挨拶といたします。

ご来場の皆さん、今日は、本校の自慢の生徒たちが、唐中生としての誇りをもって合唱に挑みます。その姿をぜひご覧ください。